

平成27年度 一般会計予算の主な事業

1万円未満切り捨て

国分庁舎別館建設事業 6億4,444万円

現庁舎北側駐車場に4階建ての庁舎を増築する

危険廃屋解体撤去工事補助事業 300万円

周囲に危険を及ぼすおそれのある建物の解体・撤去に係る費用の一部を助成する

移住定住促進事業 3,443万円

市外から転入及び本市の市街地からの転居により、本市の中山間地域に移住定住する者に対し住宅の取得、増改築費用等の補助を行う

ふるさと納税促進事業 2,933万円

地元企業とタイアップし、ふるさと納税による本市への寄附の促進及び地元特産品等のPRを行うことにより、地場産業の振興、地域の活性化を図る

合併処理浄化槽設置整備事業 2億2,368万円

単独処理浄化槽やくみ取り便槽から切り替えを行う市民に対し補助金を交付する

放課後児童健全育成事業 2億1,277万円

放課後児童クラブの運営補助ほか

青年就農給付金事業 2,850万円

経営の不安定な就農初期段階における青年の新規就農者及び経営継承者の所得の確保及び経営の安定を図るため、青年就農給付金を給付する

農道・用排水路整備事業 1億1,262万円

春山緑地公園へのアクセス道路の改修ほか

ごみ処理場管理運営事業 9億5,890万円

市民生活から排出される可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみを安定的に、経済的かつ衛生的に処理する

関平鉱泉所販売・管理事業 10億6,022万円

老朽化した既存工場の建て替え及び製造機器設備工事など

市営住宅等建て替え事業 8,413万円

老朽化した霧島田口団地1号棟の建て替えを行う

公園整備事業 5,700万円

国分上小川地区にコミュニティ広場を整備する

橋梁長寿命化修繕事業 1億5,570万円

市道に架かる橋梁について、別府橋(隼人)ほか3橋の修繕工事と126橋の定期点検を実施する

新川北線道路整備事業 8億5,580万円

新川北~福島線のしらさぎ橋上部工事や取り付け道路を整備する

建築物耐震改修促進事業 8,794万円

特定建築物及び一般住宅の所有者に対して、既存建築物の耐震診断及び耐震費用の一部を補助する

県立福山高等学校通学費等支援事業 480万円

生徒の確保を図るため、通学経費及び資格取得経費の一部を補助する

学校施設整備(小学校・中学校) 8億720万円

老朽化している市立小・中学校の各施設を年次的に整備し、教育環境の整備を図る

小学校英語教育推進事業 773万円

平成28年度から小学3・4年生で外国語学習が実施されることから、研究推進校4校で先行して研究・実践を行う費用など

平成27年度 一般会計 当初予算

551億円を可決

一般会計は前年度比4億8000万円増

予算 常任委員会

◎有村 隆志
○植山 利博
徳田 修和
阿多 己清
中馬 幹雄
宮本 明彦
中村 正人
池田 綱雄
岡村 二三
下深 迫孝二
今吉 歳晴
蔵原 勇
宮内 博

平成27年度一般会計予算は、「第一次霧島市総合計画」の実現などを指し、行政評価を活用しながら7つの政策分野を推進するために、基本的な経営方針の徹底、自主財源の確保、事務事業の抜本的見直し、投資的事業の厳選、指定管理者制度等の活用などに積極的に取り組みとともに、市制施行10周年関連の記念事業などを勘案し編成されました。

平成26年度予算と比較すると、予算規模で4億8000万円、約0.9%増となります。

この要因は、行財政改革の推進に伴い、人件費や公債費などが減少する一方、子ども子育て支援新制度への移行や障がい者福祉等の社会保障関係費などの増と、本年度から

工事に着手する国分庁舎増築や関平鉱泉所再整備に要する経費などが増加したことによるものです。

主な質疑

問 地方交付税が下がった中で、切り詰めた経費があるか。

答 義務的経費が全体予算の55・9%を占めている中で、人件費については継続して職員等の削減に努めた。投資的経費は、国分庁舎別館建設や関平

問 鉱泉所の再整備などを計上したが全体的には減っている。今後も経費の削減に努めながら、自主財源を確保していきたい。

答 ふるさと納税促進事業の詳細を示せ。

問 地場産業の振興と地域の活性化を図る観点から、平成27年度は農産物

特産品などお礼の品として150品目を考えている。

問 放課後児童クラブは、対象児童を全て受け入れられるのか。

答 新制度では、対象児童が小学6年生までとなるので、手狭になるクラブもある。当初予算では計上していないが国・県の補助金を活用し、今後の補正予算で対応したい。

問 関平鉱泉の新工場・事務所の完成はいつか。

答 新工場等の完成は、平成28年5月末を予定している。

問 単独浄化槽から合併処理浄化槽の転換について、補助金はどのようなのか。

答 転換を図るものについては、今までの9万円に3万円を上乗せして、12万円の補助金を支給する制度に変更する。

企業会計予算

1万円未満切り捨て

会計名	平成27年度	平成26年度	差引額
水道事業会計	34億4,404万円	34億6,957万円	△2,553万円
工業用水道事業会計	4,485万円	4,025万円	460万円
病院事業会計	53億113万円	49億6,223万円	3億3,890万円

※企業会計予算は、収益的支出及び資本的支出を合計したものを掲載しています。



大規模改造される上小川小学校

各会計予算

1万円未満切り捨て

会計名	平成27年度	平成26年度	差引額	
一般会計	551億円	546億2,000万円	4億8,000万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	173億1,149万円	150億4,747万円	22億6,402万円
	後期高齢者医療特別会計	12億5,910万円	12億6,460万円	△550万円
	介護保険特別会計	99億7,180万円	99億8,060万円	△880万円
	交通災害共済事業特別会計	2,258万円	2,346万円	△88万円
	下水道事業特別会計	16億1,118万円	15億1,140万円	9,978万円
	温泉供給特別会計	6,650万円	8,032万円	△1,382万円
小計	302億4,267万円	279億785万円	23億3,482万円	
合計	853億4,267万円	825億2,785万円	28億1,482万円	

※1万円未満を切り捨てているため小計が合わない場合があります。